



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所 東  
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役執行役員社長（氏名） 鈴木 規之  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員管理統括室長（氏名） 山本 和矢（TEL）050-5838-7864  
 半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	875	32.8	△15	—	△18	—	△23	—
2024年8月期中間期	658	△24.2	△160	—	△121	—	△197	—

（注）包括利益 2025年8月期中間期 △0百万円（—%） 2024年8月期中間期 △187百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	△3.20	—
2024年8月期中間期	△27.76	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	2,838	1,782	62.8
2024年8月期	2,657	1,539	57.9

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 1,781百万円 2024年8月期 1,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	39.4	50	—	39	—	15	—	2.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期中間期	7,553,400株	2024年8月期	7,113,400株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	70株	2024年8月期	70株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年8月期中間期	7,239,044株	2024年8月期中間期	7,109,400株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善に基づく国内個人消費や海外からのインバウンド消費による回復基調が維持されました。しかし、国内においては政策金利の上昇、海外においては米国の経済政策の大幅な変更やその影響への警戒感が要因となり、為替市場を中心に不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行してまいりました。

## (既存主力事業)

スマートフォン装着型リーダーの優位性を市場に積極的に発信し、顧客への認知を高める取り組みを進めています。この技術の利点を明確に伝え、従来の専用機からの移行を促進しています。

システム開発においては、新たに小売業界向けの賞味期限管理システムの受注を獲得しました。このシステムは、小売業界における重要なニーズに応えるものであり、今後の成長に大きく寄与するものと考えております。

## (新製品の開発/販売)

顔認証技術やリニアモーター技術を活用した新製品の開発/販売を行っております。また、スマートフォンのカメラを使用し、高速一括読み取りが可能な当社独自の二次元コード「AsCode」の開発を行っております。

さらに、前連結会計年度に開発したOCRとバーコードを活用した期限管理アプリ「Sdc0(エスデコ)」について、小売店への導入が実現しました。

## (営業力の強化)

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介を受けるとともに、新規受注の拡大を目指しております。また、その他の営業活動手法の検討を進めております。

## (海外展開)

当中間連結会計期間においては、大口案件の獲得に至らなかったものの、いくつかの新規大口案件の商談が進展しています。これらの商談を着実に前進させ、新規大口案件の獲得に向けた営業活動を積極的に展開してまいります。

以上の取り組みの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高875,163千円(前年同期比32.8%増)、営業損失15,991千円、(前年同期は160,872千円の営業損失)、経常損失18,942千円、(前年同期は121,131千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失23,187千円(前年同期は197,336千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は723,534千円(前年同期比37.9%増)、セグメント利益は70,175千円(前年同期は80,772千円のセグメント損失)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、自動販売機業界、製造業界、卸売・小売業界、医療業界への販売が順調に進捗しました。一方で海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありましたが、販売が計画より遅延している案件が発生しております。また、顔認証技術をはじめとした新商品開発に関する費用、顔認証レジの実証店舗運営に関する費用は継続して発生しております。以上により、前年同期に比べ売上高は増加、セグメント利益を確保する結果となりました。

## ②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は145,249千円(前年同期比12.7%増)、セグメント利益は2,817千円(前年同期は2,597千円のセグメント損失)となりました。物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界、IT・通信業界のシステム開発受注がありました。また、前連結会計年度にリリースした期限管理アプリの販売が始まり、当中間期連結会計期間において受

注がありました。一方で、一部案件において進捗の遅れの発生、不採算案件に関して受注損失引当金を計上しておりますが、概ね堅調に推移しました。以上により、前年同期に比べ売上高は増加し、セグメント利益を確保する結果となりました。

### ③賃貸事業

賃貸事業の連結売上高は6,380千円(前年同期比19.3%増)、セグメント利益は1,022千円(前年同期比101.7%増)となりました。

当社の本社兼研究所であるAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、当該建物の7階~9階の3フロアを住居として賃貸しており、当中間連結会計期間末において入居率は100%となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、2,838,314千円となり、前連結会計年度末の2,657,236千円と比べ、181,077千円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加213,377千円、商品及び製品の増加23,841千円、その他流動資産のうち仮払法人税等の増加10,202千円、原材料及び貯蔵品の増加7,685千円、有形固定資産の減少14,204千円、売掛金及び契約資産の減少62,820千円によるものです。

### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、1,055,413千円となり、前連結会計年度末の1,117,939千円と比べ62,525千円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加15,775千円、受注損失引当金の減少6,163千円、長期借入金の減少9,996千円、短期借入金の減少15,000千円、その他流動負債のうちの未払消費税等の減少16,543千円、その他流動負債のうちの未払金の減少23,596千円によるものです。

### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、1,782,900千円となり、前連結会計年度末の1,539,297千円と比べ243,603千円の増加となりました。その主な要因は、資本金の増加121,605千円、資本準備金の増加121,605千円、為替換算調整勘定の増加22,228千円、利益剰余金の減少23,187千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日の「2025年8月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績の差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2025年8月期中間連結業績及び2025年8月期通期連結業績予想について修正をしております。

詳細につきましては、2025年4月14日に公表いたしました「2025年8月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績の差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の将来に対する記述及び業績予想は、本資料発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	467,291	680,668
売掛金及び契約資産	388,748	325,927
商品及び製品	574,685	598,526
原材料及び貯蔵品	39,049	46,734
未収還付法人税等	2	—
その他	65,582	84,720
貸倒引当金	△3,156	△2,649
流動資産合計	1,532,202	1,733,927
固定資産		
有形固定資産		
建物	484,953	484,953
減価償却累計額	△16,165	△21,014
建物(純額)	468,788	463,939
建物附属設備	167,501	167,501
減価償却累計額	△20,538	△26,815
建物附属設備(純額)	146,963	140,686
構築物	18,651	18,651
減価償却累計額	△1,708	△2,257
構築物(純額)	16,943	16,394
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	197,073	201,571
減価償却累計額	△166,938	△173,964
工具、器具及び備品(純額)	30,134	27,606
土地	292,589	292,589
有形固定資産合計	955,419	941,215
無形固定資産	31,522	27,243
投資その他の資産		
投資有価証券	101,250	101,250
繰延税金資産	1,015	1,015
その他	35,826	33,661
投資その他の資産合計	138,092	135,927
固定資産合計	1,125,034	1,104,386
資産合計	2,657,236	2,838,314

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	99,828	96,296
短期借入金	665,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	21,658	19,992
未払法人税等	57,933	57,260
賞与引当金	29,150	44,926
製品保証引当金	3,751	3,231
受注損失引当金	6,770	607
その他	148,031	107,324
流動負債合計	1,032,124	979,638
固定負債		
長期借入金	70,012	60,016
資産除去債務	1,543	1,543
繰延税金負債	11,817	11,817
その他	2,441	2,397
固定負債合計	85,814	75,775
負債合計	1,117,939	1,055,413
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	806,087	927,692
資本剰余金	796,087	917,692
利益剰余金	△58,182	△81,370
自己株式	△44	△44
株主資本合計	1,543,947	1,763,970
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,650	17,577
その他の包括利益累計額合計	△4,650	17,577
新株予約権	—	1,353
純資産合計	1,539,297	1,782,900
負債純資産合計	2,657,236	2,838,314

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	658,788	875,163
売上原価	462,098	524,932
売上総利益	196,690	350,231
販売費及び一般管理費	357,563	366,222
営業損失(△)	△160,872	△15,991
営業外収益		
受取利息及び配当金	77	197
雑収入	2,527	54
為替差益	39,296	483
営業外収益合計	41,902	735
営業外費用		
支払利息	1,355	3,352
貸倒引当金繰入額	618	2
雑支出	186	331
営業外費用合計	2,160	3,686
経常損失(△)	△121,131	△18,942
特別利益		
補助金収入	18	—
特別利益合計	18	—
税金等調整前中間純損失(△)	△121,112	△18,942
法人税、住民税及び事業税	6,967	4,245
法人税等調整額	69,257	—
法人税等合計	76,224	4,245
中間純損失(△)	△197,336	△23,187
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△197,336	△23,187



## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純損失(△)	△197,336	△23,187
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,185	22,228
その他の包括利益合計	10,185	22,228
中間包括利益	△187,151	△959
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△187,151	△959
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△121,112	△18,942
減価償却費	31,193	26,108
補助金収入	△18	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	10,874	△6,163
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△397	△519
貸倒引当金の増減額(△は減少)	342	△506
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,979	15,720
受取利息及び受取配当金	△77	△197
支払利息	1,355	3,352
売上債権の増減額(△は増加)	△2,757	60,871
棚卸資産の増減額(△は増加)	△108,242	△34,114
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,898	△4,119
その他の流動資産の増減額(△は増加)	118,860	△19,528
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△56,830	△16,157
未払金の増減額(△は減少)	△26,014	△22,498
その他	10,029	30,240
小計	△184,673	13,545
利息及び配当金の受取額	77	197
利息の支払額	△1,355	△3,352
法人税等の還付額	66,935	2
法人税等の支払額	△2,953	△4,562
補助金の受取額	18	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121,950	5,830
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,027	△6,546
無形固定資産の取得による支出	△7,423	△2,185
貸付けによる支出	—	△400
その他	469	460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,982	△8,671
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	205,000	△15,000
長期借入金の返済による支出	—	△11,662
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	242,000
新株予約権の発行による収入	—	2,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	205,000	217,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,022	△1,682
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,045	213,377
現金及び現金同等物の期首残高	251,715	467,291
現金及び現金同等物の中間期末残高	316,760	680,668

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

株主資本の金額の著しい変動

当中間連結会計期間において、2025年1月6日及び2025年1月7日付のEVO FUNDによるストック・オプションとしての新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ121,605千円増加しております。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が927,692千円及び資本剰余金が917,692千円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	AsReader 事業	システムインテ グレーション 事業	賃貸事業	計			
売上高							
日本	496,010	124,674	—	620,684	620,684	—	620,684
アメリカ	26,261	—	—	26,261	26,261	—	26,261
その他	2,268	4,227	—	6,496	6,496	—	6,496
顧客との契約から生じる収 益	524,540	128,901	—	653,442	653,442	—	653,442
その他の収益	—	—	5,346	5,346	5,346	—	5,346
外部顧客への売上高	524,540	128,901	5,346	658,788	658,788	—	658,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	524,540	128,901	5,346	658,788	658,788	—	658,788
セグメント利益又は損失(△)	△80,772	△2,597	506	△82,863	△82,863	△78,009	△160,872

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	AsReader 事業	システムインテ グレーション 事業	賃貸事業	計			
売上高							
日本	619,008	145,065	—	764,074	764,074	—	764,074
アメリカ	99,344	—	—	99,344	99,344	—	99,344
その他	5,181	183	—	5,365	5,365	—	5,365
顧客との契約から生じる収益	723,534	145,249	—	868,783	868,783	—	868,783
その他の収益	—	—	6,380	6,380	6,380	—	6,380
外部顧客への売上高	723,534	145,249	6,380	875,163	875,163	—	875,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	723,534	145,249	6,380	875,163	875,163	—	875,163
セグメント利益	70,175	2,817	1,022	74,014	74,014	△90,005	△15,991

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。